

## 授業科目 福祉用具演習

【担当教員名】 飯塚 尚、蛭名 真知子、 加島 守、牧野 美奈子		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
	○			◎	
【概要・一般目標：G10】 福祉用具を扱う専門職に必要な基本技術を身につけるために、日常生活動作ごとの代表的な福祉用具を実際に扱いながら、各用具の身体への適合法、正しい使用方法と安全管理などについて理解する。					
【行動目標：SB0】 1. 『移動』『移乗』『起居』『床ずれ防止』『排泄』『入浴』に関連する福祉用具の基本的な扱いを正しく実践できる。 2. 移動・移乗における介助について正しく実践できる。 3. 用途に応じた自助具デザインを考え、これを作製することができる。 4. 対象者の条件に適切な住宅改修の提案が行える。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	グループ1：移動関連用具・機器（杖・歩行器）			1,2	実習
1-2	グループ2：移動関連用具・機器（車いす）			1,2	講義および実習
3-4	グループ1：移動関連用具・機器（車いす）			1,2	講義および実習
3-4	グループ2：移動関連用具・機器（杖・歩行器）			1,2	実習
5-6	グループ1：排泄関連用具			1	講義および演習
5-6	グループ2：入浴関連用具・機器			1	講義および演習
7-8	グループ1：入浴関連用具・機器			1	講義および演習
7-8	グループ2：排泄関連用具			1	講義および演習
9-10	グループ1：移乗・移動介助用具・機器			1,2	講義および演習
9-10	グループ2：起居関連用具・機器、床ずれ防止用具・機器の基礎知識及び演習			1	講義および演習
11-12	グループ1：起居関連用具・機器、床ずれ防止用具・機器の基礎知識及び演習			1	講義および演習
11-12	グループ2：移乗・移動介助用具・機器			1,2	講義および演習
13	グループ1：自助具（整容用、他）			3	講義および演習
13	グループ2：自助具（食事用、他）			3	講義および演習
14	グループ1：自助具（食事用、他）			3	講義および演習
14	グループ2：自助具（整容用、他）			3	講義および演習
15	住宅改修の基礎知識、及び福祉用具・機器の実際			4	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	福祉用具プランナーテキスト	(財) テクノエイド協会	(株) サンワ	2008・8,400円	
その他の資料					
【評価方法】 学習態度（出席状況、演習に臨む姿勢等）			【履修上の留意点】 本科目は『福祉用具概論』と並行して行う。 福祉用具プランナー資格試験受験に関わる必須科目である。		